

# 現代の政治

## 現代の国際政治

5 次のAの文章とBのメモをもとに、あとの各問いに答えよ。

〔A〕

ヨーロッパ諸国では、近世初頭から19世紀までは国家（群）相互の軍事力のつりあいによる **A** 政策によって国際社会の平和を維持していこうとする考え方が支配的であった。しかし、19世紀の終わりに軍備拡張競争を招き、戦争が繰り返されてきたことから、20世紀になると、集団安全保障体制により国際平和をはかろうとする考え方が生まれてきた。そうした中で第一次世界大戦が起こり、人類に多くの惨禍をもたらした。そこで、大戦中の1918年にアメリカ大統領の **B** は、集団安全保障の考え方に基づく国際平和機構の創設を提唱し、1920年に国際連盟が設立された。しかし、国際連盟は多くの欠陥をもっていたため、第二次世界大戦の勃発を阻止することができなかった。

国際連盟の失敗の教訓を踏まえて、新しい国際平和機構としての国際連合（国連）が、大戦直後の1945年10月に原加盟国51か国で発足した。国連の主要機関は、総会、安全保障理事会、経済社会理事会、信託統治理事会（現在停止中）、国際司法裁判所と事務局である。ところが発足後、米ソを中心とした東西の冷戦が始まり、大国の利害の対立などによって、現実には国連の集団安全保障体制はその理念に反して十分に機能することができなかった。さまざまな課題をかかえた国連であるが、冷戦の終結後は、地域紛争地域や発展途上国での平和維持活動や国際組織の活動などを通じて一定の成果をあげつつある。

〔B〕 冷戦を中心とした国際社会の動き

米ソを中心とした東西両陣営の対立	平和共存への道	二極から多極化へそして新冷戦へ	冷戦の終わり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ( 1 ) を発表 &lt;1947年&gt;</li> <li>・米を中心に( 2 ) を結成 &lt;1949年&gt;</li> <li>・ソ連を中心に( 3 )を結成 &lt;1955年&gt;</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・( 4 )休戦協定成立 &lt;1953年&gt;</li> <li>・( 5 )危機 &lt;1962年&gt;</li> <li>↓</li> <li>米ソ間にホットラインの設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フランス、核兵器保有 &lt;1960年&gt;</li> <li>・中国、核兵器保有 &lt;1964年&gt;</li> <li>・ソ連( 6 )侵攻 &lt;1979年&gt;</li> <li>↓</li> <li>新冷戦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソ連、ゴルバチョフ政権誕生 &lt;1985年&gt;</li> <li>・( 7 )での米ソ首脳会談において冷戦の終結宣言 &lt;1989年&gt;</li> </ul>

問1 空欄 **A** ・ **B** に該当する最も適切な語句・人名を、それぞれ記せ。ただし、**A** は漢字4字で答えること。

問2 空欄( 1 )～( 7 )に該当する最も適切な語句を、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 朝鮮戦争      イ. トルーマン=ドクトリン      ウ. アフガニスタン  
エ. イラク      オ. 米州機構      カ. ヤルタ      キ. 北大西洋条約機構  
ク. デタント      ケ. マルタ      コ. 第4次中東戦争      サ. 東南アジア条約機構  
シ. ドッジ=ライン      ス. ベトナム      セ. ベルリンの壁      ソ. キューバ  
タ. 平和五原則      チ. チェコスロバキア      ツ. 太平洋安全保障条約機構  
テ. ハンガリー動乱      ト. パキスタン      ナ. ワルシャワ条約機構

問3 下線部①が成立したのはいつごろのことか。次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 16世紀半ば      イ. 17世紀半ば      ウ. 18世紀半ば      エ. 19世紀半ば

問4 下線部②に関する記述として最も適切なものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 総会では多数決が採用されていたが、理事会では全会一致制がとられていた。  
イ. 侵略国に対する制裁が、経済制裁を含めて一切認められていなかった。  
ウ. 決議は、あくまでも勧告であって法的拘束力をもっていなかった。  
エ. 提唱国のアメリカは加盟していたが、日本やドイツは途中で脱退した。

問5 下線部③に関する記述として正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 事務局は、国連各機関の運営に関する事務処理機関で、スイスのジュネーブに設置されている。  
イ. 安全保障理事会は、アメリカ・イギリス・フランス・ロシア・中国の5常任理事国、および15の非常任理事国によって構成されている。  
ウ. 経済社会理事会は、国際的な法律的紛争を裁判し、当事国に勧告的意見を与える機関として、総会に対して独立した立場にある。  
エ. 総会では、加盟国はその面積や人口数にかかわらず1国1票の投票権を有し、多数決により決定が行われる。

問6 下線部④に関する記述として最も適切なものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 国連平和維持活動は、停戦監視団の活動、平和維持軍の活動、選挙支援などを行う活動に大別される。  
イ. 1991年の湾岸戦争での多国籍軍は、国連憲章に基づいて設けられた国連軍である。  
ウ. 国連難民高等弁務官事務所は、紛争地域の復興を支援するとともに、紛争の原因の一つである貧困の解消などにも取り組んでいる。  
エ. 国連は、環境をはじめ人口・食糧・人権問題などについて幅広く活動しているが、NGOとは組織が異なるため協力関係は築かれていない。